

# Chu-Shi ACTIVITY REPORT

中四がんプロ活動レポート

Vol.62  
Dec. 2024



栗林公園



道後温泉

## 島根大学 Shimane University

- ・がん専門医療人育成コース
- ・山陰地域がん専門医療スタッフ育成コース(インテンシブコース)
- ・遺伝情報に基づく、ぬくもりのあるがん医療実践者を育成するコース(インテンシブコース)

## 鳥取大学 Tottori University

- ・腫瘍専門医コース
- ・がん看護専門看護師コース

## 岡山大学 Okayama University

- ・包括がん研究者・研究医養成プログラムがん研究医コース
- ・医学物理コース
- ・がんゲノム医療人育成コース(インテンシブコース)
- ・医学物理コース(インテンシブコース)

## 香川大学 Kagawa University

- ・がんプロフェッショナル養成コース(医師)
- ・がんプロフェッショナル養成コース(メディカルスタッフ)
- ・地域がん医療人共育コース(インテンシブコース)

## 徳島大学 Tokushima University

- ・がん薬物療法専門医(腫瘍内科医)コース
- ・臨床腫瘍外科学コース
- ・臨床腫瘍放射線医学コース
- ・臨床腫瘍薬剤師コース
- ・高度実践がん看護学コース
- ・臨床腫瘍栄養学コース(博士前期課程・博士後期課程)
- ・医学物理学コース

## 高知大学 Kochi University

- ・がん専門医コース
- ・がん専門薬剤師コース
- ・がん医療における支持療法を担う地域がん専門医療人育成コース
- ・～がん薬物療法における支持療法と緩和ケア～(インテンシブコース)
- ・放射線治療・緩和的放射線治療医コース(インテンシブコース)

## 高知県立大学 University of Kochi

- ・高度実践看護師コース:がん看護学領域
- ・リカレント教育プログラム:がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師養成コース(インテンシブコース)

## 山口大学 Yamaguchi University

- ・領域別腫瘍専門医養成コース
- ・がん看護高度実践看護師コース
- ・腫瘍免疫専門医養成コース

## 広島大学 Hiroshima University

- ・がん専門医養成コース
- ・がん専門薬剤師養成コース
- ・医学物理士養成コース(修士課程)
- ・医学物理士養成コース(博士課程)

## 松山大学 Matsuyama University

- ・がん医療重点コース
- ・がん薬物治療スキルアップコース(インテンシブコース)

## 愛媛大学 Ehime University

- ・腫瘍内科系専門医養成コース
- ・腫瘍外科系専門医養成コース
- ・放射線腫瘍医養成コース
- ・基礎/ゲノム実践医養成コース
- ・緩和医療専門医養成コース
- ・がんゲノム医療実践コース(インテンシブコース)
- ・AYA世代対応妊孕性温存習得コース(インテンシブコース)
- ・がん治療副作用マネジメントコース(インテンシブコース)

<http://www.chushiganpro.ccsv.okayama-u.ac.jp/>

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム Vol.62

### □ 編集兼発行者

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム事務局  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1  
TEL : 086-235-7812 / FAX : 086-235-7045  
ganpro@adm.okayama-u.ac.jp

### □ 印刷所

有限会社 ファーストプラン

Mid-West Japan  
Cancer Professional Education Consortium  
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム





## 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

中国・四国地域に位置する11大学がコンソーシアムを形成し、各大学院に多職種のがん専門医療人養成のためのコースワークを整備し、これに地域のがん診療連携拠点病院が連携することにより、広い地域にムラなくがん専門医療人を送り出すことを目的としています。



## 地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成

令和5年6月に、中国・四国地方9県全域にわたる11大学が連携する「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」プロジェクトが文部科学省の「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業に採択されました。

本事業は、第4期がん対策推進基本計画が目指す「誰一人取り残さないがん対策」を推進できる人材育成を目指しております。がん患者数の増加、治療の進歩に伴い医療の現場で顕在化している課題やがん予防の推進、新たな治療法の開発は重要課題となっており、中国・四国地方においても高いレベルでそれらを理解し、適切な医療を提供できる医療人の養成が必要とされています。さらに、がん患者の求める全人的医療を実践するためには、各々が高度な技術と知識を持った上で、チームとして連携し、がん診療を提供する多職種連携教育が重要となります。

本事業では中国・四国の11大学が参画するコンソーシアムを組織し、上記課題に対応できる卓越したがん専門医療人の人材育成にあたります。

当コンソーシアム事務局では、講演会、国内外の施設への研修など、コンソーシアムの活動情報を広く発信することを目的とした中四がんプロ活動レポートの発行を行っています。

本誌をきっかけに、大学院入学や各種セミナーへの参加等をご検討いただければ幸いです。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
事務局

## 島根大学・岡山大学・香川大学・鳥取大学連携 インテンシブコース 遺伝情報に基づく、ぬくもりのあるがん医療実践者を育成するコース

### 1. 概要

#### 目標

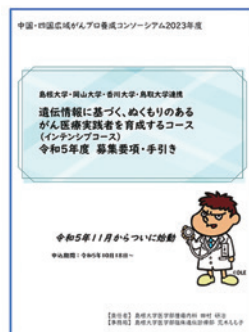
- ・遺伝子異常によるがんの発生機序が理解でき、最先端かつ適切ながん治療・予防医療について多職種で考え実践することのできる人材を育成する
- ・全ゲノム時代に対応できる人材を育成する
- ・ライフステージを理解し、患者・家族の問題を捉え統合的な支援ができる人材を育成する
- ・医療人としての質の高いコミュニケーションスキルを持ち、患者・家族の意思決定支援が実践できる人材を育成する

#### 対象

- ・医師、看護師、保健師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、がん専門相談員、MSW、認定遺伝カウンセラー、その他がんゲノム医療・遺伝医療に興味を持っている医療人

目指す

臨床遺伝専門医、遺伝性腫瘍専門医  
認定遺伝カウンセラー、遺伝専門看護師  
ジェネティックエキスパート、GMRC 等



島根大学  
田村 研治

近年、がん医療は大きく変化しています。その中でも、がんゲノム医療が大きな注目を浴びています。遺伝性腫瘍の問題に加え、後天的なゲノム異常を用いた分子標的療法による個別化医療が進んでいます。又、小児、AYA 世代、高齢者など、ライフステージに応じたがん治療が、ますます求められています。新しい時代に対応した、質の高い医療スタッフを目指すあなたに、最適なコースです。



岡山大学  
平沢 晃

がんゲノム医療は「がん患者の腫瘍部および正常部のゲノム情報を用いて治療の最適化・予後予測・発症予防をおこなう医療（未発症者も対象とすることがある。またゲノム以外のマルチオミックス情報も含める）」と定義されています。本コースはゲノム情報に基づいてがん未発症の段階から LTFU（long term follow up）することが可能な人材育成を目指します。



島根大学  
荒木 もも子

看護師兼認定遺伝カウンセラーの荒木と申します。遺伝・ゲノム医療に対するがん患者さんのニーズが高くなっていることを日々感じております。「遺伝」「ゲノム」と聞くと踏み込みにくい世界と思われる医療者の方も多いのですが、今回のコースでは、分かりやすく、かつ実践で活用できる内容を準備致しました。遺伝性腫瘍と診断された方々の支援について一緒に考えて下さる方、少しでもご興味をお持ちの方、大歓迎です。

### 3. 単位について

年間 20 単位以上取得した者に修了証を発行。1 は 6 単位以上、2 は 2 単位以上取得する。

各講座の受講時に「出席カード」を提出し、担当講師より押印を得る。

3 に関しては事務局（島根大学がんプロ担当：ganpro-shimane-u.ac.jp）に証明できるものを提出し、単位認定を得る。

R5 年度は短期間であったため、R5 年度の単位取得分を R6 年度に持ち越しが可能。

#### 1. On-the-Job Training ※6 単位以上

| テーマ                               | 施設         | 単位 / 回 |
|-----------------------------------|------------|--------|
| ① 遺伝性腫瘍エキスパートパネル                  | 岡山・香川大学    | 1      |
| ② がんゲノム医療エキスパートパネル                | 四大学        | 1      |
| ③ 遺伝性腫瘍に関するカンファレンス（成人）※1 単位以上     | 四大学        | 1      |
| ④ 遺伝性腫瘍に関するカンファレンス（小児・AYA）※1 単位以上 | 香川・島根大学    | 1      |
| ⑤ 遺伝カウンセリング陪席実習 ※2 単位以上           | 岡山・香川・島根大学 | 1      |
| ⑥ がんゲノム医療陪席実習 ※2 単位以上             | 岡山・香川・島根大学 | 1      |
| ⑦ がん患者・家族相談支援研修（講義・実習）            | 香川・島根大学    | 1      |
| ⑧ 遺伝倫理・ライフサイクルカンファレンス             | 香川・島根大学    | 1      |
| ⑨ 全ゲノムシーケンスを含むゲノムデータ解析研修（講義・演習）   | 香川・鳥取大学    | 1      |

#### 2. 関連セミナー・ロールプレイング等 ※2 単位以上

| テーマ                                                                                | 施設                  | 単位 / 回 |
|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|--------|
| ① 関連セミナーあるいはシンポジウムへ参加<br>※セミナーについては事務局より提示します。提示のセミナー等以外で単位を希望される場合は各事務局までご連絡ください。 | 関連施設                | 1      |
| ② 遺伝性腫瘍症例検討会：「結果の解析やサーベイランス」「ライフステージ」「心理・社会的支援」のいずれかのテーマで症例提示                      | 岡山・香川大学             | 2      |
| ③ 各施設の遺伝性腫瘍体制強化についてワークショップの開催（当事者会とコラボ）                                            | 香川大学<br>鳥取・島根大学合同開催 | 2      |
| ④ 「コミュニケーション」「意思（志）決定支援」講義とロールプレイングの実施                                             | 島根大学                | 2      |
| ⑤ 市民公開講座への参画（講師・企画担当など）                                                            | 関連施設                | 2      |
| ⑥ キャリア形成支援セミナーへ参加                                                                  | 岡山大学<br>島根・鳥取大学合同開催 | 1      |

#### 3. 学会発表及び臨床研究の主導

| テーマ                  | 単位 |
|----------------------|----|
| ① 全国規模の学会での成果公表      | 5  |
| ② 地域での学会、研究会などでの成果公表 | 2  |
| ③ 臨床研究の主導            | 10 |

4 大学の  
強みを生かし、  
協働し、  
スペシャリスト  
を育成



岡山大学 医学部  
Okayama University Medical School

遺伝性腫瘍を専門とする臨床遺伝専門医の在籍  
遺伝性腫瘍エキスパートパネル



新しいゲノム時代に対応した、  
質の高い医療スタッフの育成



香川大学 医学部・医学系研究科  
Faculty of Medicine / Graduate School of Medicine KAGAWA UNIVERSITY

遺伝性腫瘍を専門とする臨床遺伝専門医の在籍



ゲノム情報に基づいてがん未発症の段階  
から LTFU(long term follow up) することが  
可能な人材育成



鳥取大学 医学部  
Faculty of Medicine Tottori University

難病の遺伝子解析  
IRUD 拠点病院



島根大学 | 医学部  
SHIMANE UNIVERSITY

遺伝性腫瘍に関連した他職種連携・  
地域医療の取り組み

### 2. 講師紹介

各施設の医療者、多職種で構成しています

医師・看護師・認定遺伝カウンセラー・認定がん専門相談員・ジェネティックエキスパート

岡山  
大学



平沢 晃



山本 英喜



岡崎 哲也

香川  
大学



隈元 謙介



鶴田 智彦



花岡 有為子

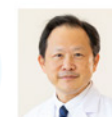


田中 圭紀



十川 麗美

島根  
大学



田村 研治



鬼形 和道



山本 寛斉

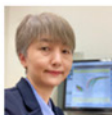


鞍嶋 有紀

鳥取  
大学



栗野 宏之



足立 香織



野中 智生



甲斐 政親



荒木 もも子



今岡 佐織



上田 幸奈

## 4. 活動報告

### 対話型セミナーの企画

2023年11月11日(土) 開催

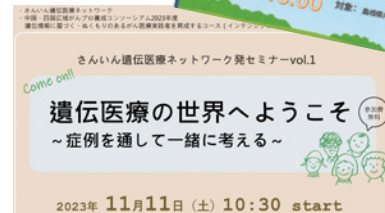
#### キャリア形成支援セミナー

遺伝医療の世界へようこそ～症例を通して一緒に考える～

体制整備を行う準備として遺伝医療の専門家と、  
島根を良く知る映画監督の錦織良成氏とのシンポジウム  
「遺伝医療を知り、がん死を減らす!!」



シンポジウムの様子



参加者の声

正確な情報を伝えること、  
伝わる情報は何か、医療者の  
使命を学んだ。

遺伝性腫瘍の正しい知識を  
社会がしっかりと受け止める  
ことができるように活動を  
行う必要がある。

地域の文化を知り、  
その価値観に寄り添いながら、  
遺伝医療を行う大切さを  
学んだ。

2024年1月21日(日) 開催



#### 各施設の遺伝性腫瘍体制強化についてワークショップの開催 (当事者会とコラボ)

家族性大腸ポリポーシス患者と家族の会 ハーモニー・ライン代表の土井悟氏をお迎えし、  
対話を通し、医療体制の強化について考える

2024年2月10日(土) 開催



#### 「コミュニケーション」「意思(志) 決定支援」講義 とロールプレイングの実施

精神腫瘍学の専門家である島根大学精神医学講座の稲垣正俊教授とともに  
「私は(家族は) 何でがんになったんですか?」の心理について考える

相手の言葉の背景をくみ取り、返答の方法、  
内容を考える必要があるということを知り、  
普段の業務にも活かせると思った。

意思決定とよく言われるが、  
共感の姿勢から心理的安全性を担保し  
関係性を築いた上で、患者自身が感情的に  
気づくということができて初めて  
意思決定支援といえると思った。

患者や家族が抱える思いや、  
質問の意図など、解決策が  
すぐ出ない問題に向き合っていく  
大事なことも考えることが  
できた。

参加者の声

## On-the-Job Training

2024年2月17日(土) 開催



#### 遺伝倫理・ライフサイクルカンファレンス

国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻遺伝カウンセリング分野の  
西垣昌和教授をお迎えし、遺伝・ゲノム医療におけるELSIについての  
理解、ライフステージと個性を重視した遺伝医療について学ぶ



2024年2月17日(土) 開催

#### 遺伝性腫瘍に関するカンファレンス(成人、小児・AYA)

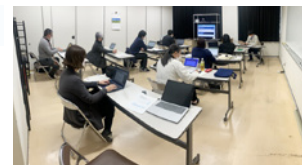
島根大学臨床看護学講座の秋鹿都子准教授を座長とし、症例検討を通してそれぞれの  
課題と個々のニーズに合った支援について考え話し合う



2024年3月11日(月) 開催

#### 全ゲノムシーケンスを含むゲノムデータ解析研修

網羅的遺伝子解析の理解の向上を目的として、講義とハンズオンセミナーを行い、  
生殖細胞系列のバリエーションにフォーカスをした解析結果の評価について学ぶ



## 市民公開講座の企画



若手の認定遺伝カウンセラー(がんプロ受講生)と  
がんプロ講師による合同企画・効果のあるがん予防の  
啓発活動について考える

人間の行動変容5段階の1期→2期への移行を目的にプランニング

無関心期

関心期

がん? 病気? 興味ないよ

がんって遺伝性もあるんだ

プランニング:

- ・人形劇やDNA抽出などの実験を通し、子ども達に遺伝に興味をもってもらう
- ・市民講座などに参加することの少ない子育て中の世代の方々に、遺伝、  
遺伝医療について関心をもってもらう

アンケート調査を行い、啓発活動及び行動変容に関して評価を行う

参加者の声

未就学の子ども達には、難しい、  
DNAのしくみや遺伝について、  
とても噛み砕いてまとめられていました。  
易しく説明するための労力に  
感動させられました。

病気のことや遺伝カウンセリングについて、  
どのように説明しようかと悩んでいましたが、  
今回のお話は入門としてぴったりでした。

講演は子供が難しい勉強だと思った  
ようで行きたがらず、DNAの採取だけ参加しま  
した。楽しかったようで、少しは遺伝に興味を  
持ってくれたのではないかと思います。  
次の機会があればぜひまた参加させて  
いただきたいです。



高知大学・鳥取大学連携 インテンシブコース

## 放射線治療・緩和的放射線治療医コース

### 1. コースの紹介

目的

- ・現在放射線治療専門医は、慢性的な人材不足が続いています。
- ・中四国内の放射線治療専門医を目指す医師や既に放射線治療専門医を取得し、資格更新のための知識のアップデートを希望する医師のために開講します。

養成すべき人材像

- 以下の条件を兼ね備える放射線治療専門医を育成する。
- ・地域から拠点病院において、根治から緩和までがん患者のライフステージに応じた先進的、緩和的放射線治療を速やかに提供できる医師
- ・多職種で協働し、シェアード・ディシジョン・メイキングに応じて先進的、緩和的放射線治療に繋げる医師
- ・各癌種におけるエビデンスに基づいた診療を実施できる医師

履修内容および修了要件

本教育プログラム・コースで定める計10回の集中講義について、オンライン、対面を含めて合計8回以上を履修することで修了とする。

特色

- ・高度化かつ複雑化する様々な癌種の治療に対応できる放射線治療専門医を育成するため、各領域において全国の第一線で活躍するエキスパートを招いた集中講義を行うことで、専門医取得及び更新のための最新知識のアップデートが可能となる(各集中講義の内容は年ごとにアップデート)。また、オンラインを利用して先端的な放射線治療に関する情報を多忙な医師に効率よく提供し、生産性の高い教育を行う。
- ・都道府県がん診療連携拠点病院及びがん診療連携拠点病院において放射線治療業務及び緩和医療の中心的役割を担う。また、地域施設在籍時においても、都道府県がん診療連携拠点病院での研修や学会参加のサポート(不在時の人的派遣など)での定期的な知識・技術のアップデートが行える環境を整えることで、地域定着を図る。

令和6年度の開講計画

| 回数   | 日時        | 主題                                | 講師     | 所属                                                  |
|------|-----------|-----------------------------------|--------|-----------------------------------------------------|
| 第1回  | 令和6年5月21日 | 1. 阪大における医学物理学研究紹介                | 西尾 禎治  | 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻<br>医療画像技術科学分野生体物理学講座<br>医学物理学研究室 |
| 第2回  | 6月25日     | 2. 腫瘍免疫と放射線治療                     | 染谷 正則  | 札幌医科大学<br>放射線医学講座                                   |
| 第3回  | 7月16日     | 3. 粒子線治療のこれまでとこれから                | 石川 仁   | 国立研究開発法人<br>量子学技術研究開発機構 QST 病院                      |
| 第4回  | 8月27日     | 4. 伝統医学が支える放射線治療<br>～漢方を用いたアプローチ～ | 鮎川 文夫  | 新潟県立がんセンター新潟病院<br>放射線治療科                            |
| 第5回  | 9月19日     | 5. 乳がん診療における放射線治療の役割              | 川村 麻里子 | 名古屋大学医学部附属病院<br>放射線科                                |
| 第6回  | 10月22日    | 6. 緩和照射の使い方                       | 齋藤 哲雄  | 済生会熊本病院<br>総合腫瘍科                                    |
| 第7回  | 11月13日    | 7. 原発性脳腫瘍・転移性脳腫瘍に対する放射線治療         | 宇藤 恵   | 京都大学医学部附属病院<br>放射線治療科                               |
| 第8回  | 12月16日    | 8. 頭頸部癌の放射線治療                     | 安田 耕一  | 北海道大学病院<br>放射線治療科                                   |
| 第9回  | 令和7年1月27日 | 9. 実践！脊椎 SBRT                     | 伊藤 慶   | がん・感染症センター都立駒込病院<br>放射線科（治療）                        |
| 第10回 | 2月18日     | 10. 臨床試験の方法・生物統計（仮題）              | 関野 雄太  | 国立がん研究センター中央病院<br>臨床研究支援部門 JCOG 運営事務局               |

### 2. 活動報告

これまでの講演会の参加人数は、次のとおりです。当初予定していた対象者は医師でしたが、医師のみならず、診療放射線技師や医学物理士、看護師のほか歯科医師やCRC、学部学生からも申込みがありました。また、参加者は中四国に限らず日本各地から参加されています。

参加者数

| 回数  | 開催日   | 参加人数 | 参加者内訳 |       |       |     |     |
|-----|-------|------|-------|-------|-------|-----|-----|
|     |       |      | 医師    | 放射線技師 | 医学物理士 | 看護師 | その他 |
| 第1回 | 5月21日 | 60   | 25    | 23    | 3     | 8   | 1   |
| 第2回 | 6月25日 | 35   | 16    | 12    | 0     | 7   | 0   |
| 第3回 | 7月16日 | 56   | 23    | 16    | 0     | 10  | 7   |
| 第4回 | 8月27日 | 41   | 19    | 11    | 0     | 6   | 5   |



令和6年8月27日 第4回講演会の様子

### 3. 教員、学生の参加感想

参加者からは、次のような感想がありました。

#### 第1回講演会

2024年5月21日（火）開催

放射線治療に携わって期間が短く、陽子線のことも何も知らなかったので、X線と陽子線などで線量測定などの仕方も変わってくるところから勉強になりました。

超高線量率照射の話とロボットによる癒しのがん治療に対する影響の話は興味深い内容だった。

参加者の声



主催：中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム  
第1回 放射線治療・緩和的放射線治療医コース  
（インテンシブコース）講演会

日時 2024年5月21日（火）18：00～19：00  
オンライン（Zoom）開催 〇無料参加可

講演 座長：高知大学医学部放射線腫瘍学講座  
教授 木村 智樹  
「阪大における医学物理学研究紹介」

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
医療画像技術科学分野生体物理学講座  
医学物理学研究室

教授 西尾 禎治 先生

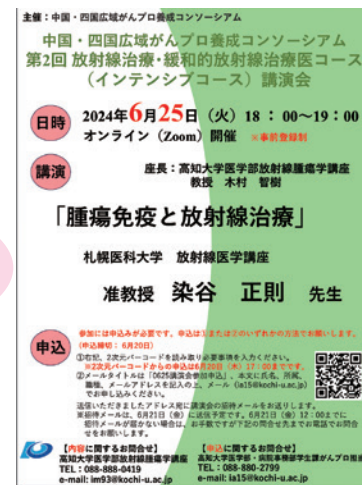
申込 参加には申込みが必要です。申込は登録されたメールアドレスからメールでお申し込みください。  
（申込締切：5月15日）  
①申込：2次受付コードを申込み取り、登録後に入力してください。  
②登録：登録コードから申込内容を確認し、「申込」ボタンをクリックしてください。  
③メール：メールは「0521講演会参加申込」と、本件に氏名、所属、職名、メールアドレスを入力の上、「メール」ボタンをクリックしてください。  
④確認：いただいたメールアドレス宛に講演会の招待メールをお送りします。  
※招待メールは、5月17日（金）迄送付予定です。5月17日（金）12：00までには招待メールが届かない場合は、お事務局で下記の場合を先ずお電話でお問い合わせをお願いします。

【申込に関するお問合せ】 高知大学医学部放射線腫瘍学講座  
TEL：089-888-0419  
e-mail: im93@kochi-u.ac.jp

【お問い合わせ】 高知大学医学部・医療事務学生課がんケア担当  
TEL：089-888-2799  
e-mail: ka2@kochi-u.ac.jp

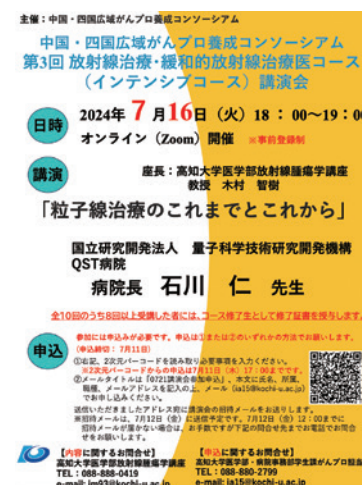
2024年6月25日(火) 開催

Infiltrating typeやcold typeなどを  
免疫染色により調べることで、  
事前に治療効果予測が可能となることが  
印象に残っています。

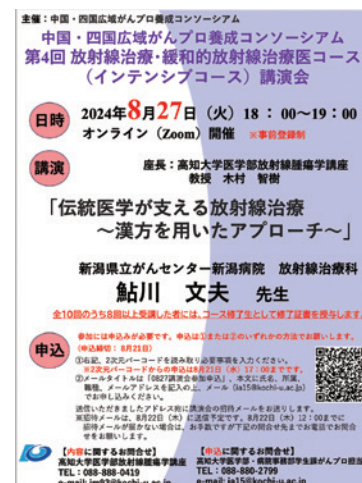


2024年7月16日(火) 開催

今日は貴重な講演に  
参加させて頂きありがとうございました。  
私は粒子線治療とIMRTでは粒子線治療の方が  
エネルギーは高くても、正常組織への影響が  
少ない点が印象に残りました。



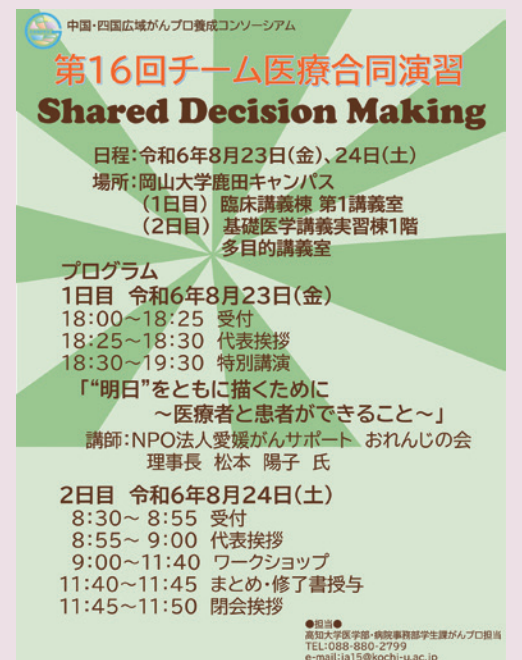
2024年8月27日(火) 開催



A large group of students and faculty members are posed for a group photo in an auditorium. They are arranged in many rows, with some standing in the back and others seated in the front. The students are dressed in a variety of attire, including white shirts, dark trousers, and traditional Japanese clothing like kimonos and haori. The setting is a large hall with tiered seating and a stage area visible in the background.



各グループでは、「まずは患者さんに標準的な治療法のメリットとデメリットを説明する。さらに治療を行わなかった場合の予後を説明する必要がある。」「医療者としてより良い治療は何になるのか?」など様々な討議が行われました。



# 活動報告

## 広島 第29回 広島放射線治療研究会

テーマ:緩和医療

日 時:令和5年11月11日(土) 15:00~18:00

場 所:広島コンベンションホール

参加者:42名(医師:20名、放射線技師:10名、物理士:3名、その他(学生、業者):9名)

「副鼻腔癌に対するHyperArc-optimizationが有用であった一例」

広島大学病院 診療支援部 放射線治療部門 奥村 拓朗、越智 悠介、津田 信太朗、増田 弘一、坪内 健、和田 拓也、磯部 伶緒、中島 健雄  
広島大学大学院 放射線腫瘍学 今野 伸樹、勝田 剛

「光学的位置決めシステムを用いたSurface Guided Radiation Therapyの使用経験 ～皮膚マーカースへの取り組み～」

県立広島病院 放射線治療科 村上 智洋、國重 智之、中野 正博、酒井 貴文、寄高 千聖、國本 陽英、大西 圭一、土井 歆子

「画像生成AIを応用した新たなVMAT患者個別線量検証手法の開発」

広島がん高精度放射線治療センター 松浦 貴明、山田 聖、小澤 修一  
広島大学大学院 医系科学研究科 医歯薬学専攻 松浦 貴明  
広島大学大学院 放射線腫瘍学3 河原 大輔、小澤 修一、村上 祐司  
帝京大学 理工学部 情報電子工学科 小金澤 明登

「関節リウマチに対してメトトレキサート投与中の前立腺癌患者の腰椎への緩和的放射線治療後に発生した放射線十二指腸炎の一例」

県立広島病院 放射線治療科 大西 圭一、土井 歆子

「当院にて椎体転移に対して緊急照射を行なった症例の検討」

広島大学大学院 放射線腫瘍学 勝田 剛、貞時 隆志、今野 伸樹、廣川 淳一、西淵 いくの、村上 祐司

「8 Gy/1frでの疼痛緩和照射の初期治療経験」

広島市立北部医療センター 安佐市民病院 放射線治療科 三好 章太、桐生 浩司

「広島大学病院における有痛性非骨転移腫瘍に対する8 Gy単回照射の検討」

広島大学大学院 放射線腫瘍学 今野 伸樹、貞時 隆志、勝田 剛、廣川 淳一、西淵 いくの、村上 祐司

「広島大学における臨床研究の進捗状況」

広島大学大学院 放射線腫瘍学 西淵 いくの、今野 伸樹

「高精度緩和照射のホットトピックー脊椎転移を中心にー」

東京都立駒込病院 放射線科治療部 伊藤 慶 先生

## 広島 広島大学病院緩和ケアフォローアップ研修

日 時:令和5年11月23日(木) 9:00~15:00

場 所:広島大学病院

参加者:32名(医師:13名、看護師:15名、薬剤師:3名、その他:1名)

■オリエンテーション・挨拶 ■講義 アドバンス・ケア・プランニング ■アイスブレイキング ■グループワーク 苦痛緩和のための鎮静  
■グループワーク 死が近づいたとき ■ふりかえり・まとめ  
講師／ファシリテーター

安来第一病院 院長 杉原 勉、広島赤十字・原爆病院 精神科 部長 小早川 誠

コールメディカルクリニック広島 医師 上杉 文彦、広島大学病院 精神科 講師 倉田 明子

県立広島病院 薬剤科 薬剤師 笠原 庸子、広島大学病院 薬剤部 薬剤師 大東 敏和

広島市立広島市民病院 看護部 看護師 仁井山 由香、広島大学病院 看護部 看護師 重山 千恵



2症例目の「Patient Journeyを見据えたShared Decision Making」では、食道がんの患者さんで、ご本人も家族もご飯が食べられるようになりたい(してあげたい)という思いがあり、それに対して1症例目と同じディスカッションポイントについて討議を行いました。ここでは、管理栄養士である参加者から「本人の好物を尋ねる。」や「食事の形態(刻み食やペー  
スト食など)の提案をする。」「食事を作る家族の情報を確認する。」など栄養士ならではの視点で発言がありました。

最初は座っていた学生もだんだん立ち上がって、活発な討議が行われていました。

参加したがんプロ学生に理解できたことを尋ねると、「がん治療の流れや、流れを決定するうえでどういったことに留意すべきかが分かりました。」「チームでディスカッションすることで自分一人では考えつかない案も出てくること。」「患者さんそれぞれの背景を考えることの大切さ。他の職種の人、他の医師の意見を聞くことの有用性。」「グループワークを通じて、自分自身と他職種(看護師)の方の視点が異なることを改めて感じ、大変勉強になりました。」「患者、その家族と共に治療計画を考えていくこと」などの意見があり、有意義な時間が過ごせたのではないかと思います。



## 岡山 第15回 歯科・口腔外科Focused Seminar

日 時:令和5年12月10日(日) 10:00～12:40  
場 所:ハイブリット開催 岡山大学鹿田キャンパス 鹿田会館2階 講堂  
参加者:64名

「口腔外科医が行う顎口腔機能再建」  
大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔腫瘍外科学講座 教授 鵜澤 成一  
「口腔機能管理を目指したチーム医療における薬剤師の役割」  
岡山大学病院 薬剤部 講師 濱野 裕章  
「がんと口腔内環境との関係」  
埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科 教授 山崎 知子



## 広島 広島大学病院緩和ケア研修会

日 時:令和5年12月10日(日) 9:00～16:55  
場 所:広島大学病院  
参加者:17名(医師:16名、その他:1名)

研修項目:  
①がん緩和ケアにおけるコミュニケーション(ロールプレイング及びグループ演習)  
②全人的苦痛に対する緩和ケア(グループ演習 症例検討)  
③療養場所の選択と地域連携(グループ演習)  
④がん患者等への支援

## 山口 第30回 宇部小野田圏域緩和ケア事例検討会

日 時:令和5年12月14日(木) 17:30～18:30  
場 所:山口大学医学部附属病院 A棟1階 オーデトリウム  
参加者:49名

「患児の思いを尊重しながら地域と協力し自宅や学校生活が送れた例」  
生協小野田診療所 医師 山本 優里 先生  
山口大学医学部附属病院 A棟8階(小児科) 看護師 永富 明日香 先生 / 患者支援センター 看護師 梶間谷 百恵 先生

## 高知県立 がん高度実践看護師WG講演会 in Kochi

テーマ:がん医療の新たなニーズやアンメットニーズに応えるケアの質向上を推進する看護師養成  
高齢がん患者への包括的な機能評価を活かしたケアの創造  
日 時:令和5年12月16日(土) 13:00～16:30  
場 所:オンライン開催(Zoom)  
参加者:83名

「脆弱ながん患者における全身状態評価と治療・支援と今後の課題」  
杏林大学医学部腫瘍内科学 教授 長島 文夫 氏  
「高齢がん患者の包括的な機能評価における看護の役割とケア」  
独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター がん看護専門看護師 北川 善子 氏



## 広島 広島大学病院がん医療従事者研修会

日 時:令和6年1月12日(金) 18:30～20:00  
場 所:オンライン開催(Zoom)  
参加者:19名(看護師:4名、薬剤師:14名、その他:1名)

「がんにおけるチーム医療と薬剤師の役割について考える」  
広島大学病院 薬剤部 櫻下 弘志 先生  
「がん薬物療法における薬剤師の役割  
～薬剤師の地域医療連携・抗がん薬治療の生殖機能への影響を考える～」  
国立がん研究センター東病院 薬剤部 副薬剤部長/日本臨床腫瘍薬学会 副理事長 米村 雅人 先生

## 山口 第139回 山口大学病院がんセミナー

日 時:令和6年1月17日(水) 17:30～18:15  
場 所:オンライン開催(Zoom)  
参加者:25名(医師:6名、看護師:4名、事務職員:5名、技術専門職員:1名、薬剤師:5名、管理栄養士:1名、臨床心理士:1名、教員:2名)

「乳がんの初期薬物治療について」  
消化器・腫瘍外科学講座 助教 前田 訓子 先生

## 島根 当事者さんと一緒に考え・つくる めくもりのある遺伝性腫瘍の医療体制

日 時:令和6年1月21日(日) 13:00～16:00  
場 所:島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟2階 だんだん  
※第1部のみZoomによる同時配信  
参加者:28名(Zoom:20名、会場:8名)

第1部:「各施設の遺伝性腫瘍医療体制強化のためにできること」  
「医療者に望むこと」  
家族性大腸ポリポシス患者と家族の会 ハーモニー・ライン代表 土井 悟 氏  
第2部:「症例発表会」  
遺伝性腫瘍症例発表会 講師:がんプロ担当講師数名



## 広島 広島大学病院在宅緩和ケア事業研修会

テーマ:看取りに向けての医療と地域の連携  
日 時:令和6年1月27日(土) 15:00～16:30  
場 所:広島大学病院  
参加者:42名(医師:8名、看護師:29名、薬剤師:3名、その他:2名)

「緩和医療学の進歩と地域連携」  
社会医療法人清風会 廿日市記念病院 緩和ケア病棟施設長 小原 弘之 医師  
「地域完結型の看取りを推進するために効果的な医療提供・連携体制について考える」  
Y M C A訪問看護ステーション・ピース 所長 濱本 千春 訪問看護師

## 広島 第7回 広島放射線治療チーム医療研究会

テーマ：がん治療を取り巻くソーシャルサポート/支持療法

日 時：令和6年2月3日（土） 13:30～16:50

場 所：オンライン開催（Zoom）

参加者：151名



「世界最高水準の放射線治療チームの育成と地域及びアジア近隣諸国への展開プロジェクト活動終了報告」

広島大学病院 診療支援部 放射線治療部門 坪内 健人 先生

（セッション1 がん治療を取り巻くソーシャルサポート）

「がんと働く～がん治療と仕事の両立のために大切なこと～」

一般社団法人 がんと働く応援団 廣田 純子 先生

「がん治療中の患者の就労支援」

広島大学病院 がん相談支援センター 瀬尾 あゆみ 先生

「放射線治療を受けられる患者に対する患者ファーストの様々なサポート」

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科/医学物理室 宮崎 正義 先生

（セッション2 支持療法）

「当院の頭頸部癌支持療法における現状」

広島大学大学院 放射線腫瘍学 村上 祐司 先生

「口腔粘膜炎ケアのマインドセット」

群馬大学 重粒子線医学推進機構 重粒子線医学研究センター 武者 篤 先生

## 広島 第22回 広島がん薬物療法セミナー

日 時：令和6年2月3日（土） 15:00～16:50

場 所：広島大学病院

参加者：54名（薬剤師：54名）

## 広島 広島大学市民公開講座 学ぼう!がんの最新治療！

日 時：令和6年2月4日（日） 14:00～16:00

場 所：広島県医師会館 201会議室

参加者：79名（市民：79名）

「免疫チェックポイント阻害薬」 広島大学病院 がん化学療法科 助教 徳毛 健太郎 先生

「光免疫療法」 広島大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教 築家 伸幸 先生

「抗体薬物複合体（ADC）」 広島大学病院 乳腺外科 診療講師 笹田 伸介 先生

「CAR-T療法」 広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授 一戸 辰夫 先生

「がんゲノム医療」 広島大学病院 ゲノム医療センター長・遺伝子診療科 教授 樽井 孝夫 先生

## 愛媛大学医学部附属病院腫瘍センター講演会

## 愛媛 第7回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講演会

日 時：令和6年2月5日（月） 17:30～19:00

場 所：愛媛大学医学部 40周年記念講堂

参加者：71名（医師：7名、薬剤師：1名、学生：56名、その他：7名）



「医療と音楽：緩和ケアにおける総合的アプローチ」

認定音楽療法士 佐藤 由美子 氏



## セミナー&ロールプレイング

## 島根 「私は（家族は）何でがんになったんですか？」の心理について考える～コミュニケーションと意思（志）決定支援～

日 時：令和6年2月10日（土） 13:00～16:00

場 所：島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟2階 だんだん

※講演のみ Zoom同時配信

参加者：69名（医師：3名、看護師・助産師：22名、認定遺伝カウンセラー：4名、MSW：31名、心理士：2名、社会福祉士：2名、検査技師：1名、医療事務他：2名、大学院生：2名）

「遺伝性腫瘍とは？」

島根大学医学部附属病院 臨床遺伝診療部 荒木 もも子

「私は（家族は）何でがんになったんですか？」の心理について考える

島根大学医学部 精神医学講座 教授 稲垣 正俊 氏

ロールプレイング

説明及び症例紹介：島根大学医学部附属病院 認定がん専門相談員 今岡 佐織

ファシリテーター：姫路赤十字病院 認定がん専門相談員 井上 豊子 氏、がんプロ担当講師数名

## セミナー&症例検討会

## 島根 明日から活かせる遺伝・ゲノム医療の実践～個々のニーズに適した支援を考える～

日 時：令和6年2月17日（土） 13:00～16:00

場 所：島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟2階 だんだん

※セミナーのみ Zoom同時配信

参加者：25名（医師：8名、看護師・助産師：10名、認定遺伝カウンセラー：6名、MSW：1名）

セミナー1：「遺伝・ゲノム医療における ELSI」

セミナー2：「ライフステージに応じた支援とは？」

国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻遺伝カウンセリング分野 教授 西垣 昌和 氏

症例検討1：「遺伝性腫瘍に関するカンファレンス（成人）」

症例検討2：「遺伝性腫瘍に関するカンファレンス（小児・AYA）」

ファシリテーター：がんプロ担当講師数名



## 岡山 市民公開講座 第8回 小児がんフォーラム in 岡山

テーマ：小児・AYA世代のがん患者とその家族のために私たちができること

日 時：令和6年2月23日（金） 13:00～16:00

場 所：オンライン開催（Zoom）

参加者：99名

【第1部 当事者と家族への支援】

「治療の体験・家族のこと」 経験者の方からの体験談

「きょうだいの思いときょうだい支援」 岡山きょうだい会 リアルボイス実行委員会 代表 増田 美佳

「小児病棟における家族への支援」 岡山大学病院 家族支援専門看護師 上村 奈緒子

【第2部 教育講演】

「女性の妊孕性温存」 岡山大学病院 リプロダクションセンター 産婦人科 樫野 千明

「男性不妊治療と男性における妊孕性温存」 岡山大学病院 リプロダクションセンター 泌尿器科 富永 悠介

「小児がんの治療～歴史と近未来～」 岡山大学病院 小児科 石田 悠志

## 松山 松山大学大学院医療薬学研究科 がんプロ第13回 公開講座

テーマ：薬剤師が導く安全な薬物療法  
日 時：令和6年2月24日（土） 14:30～16:40  
場 所：オンライン開催（Zoom）  
参加者：73名（うち薬剤師63名）

「臨床データを活用した、薬学研究・新たな治療法の開発」 松山大学大学院 医療薬学研究科 武智 研志  
「制吐薬適正使用ガイドライン第3版 改定のポイントについて」 四国がんセンター 薬剤部 主任 松本 拓真  
「安全な外来がん化学療法の実践」 KKR札幌医療センター 薬剤科 薬剤科長 玉木 慎也

## 広島 広島大学病院がん医療従事者研修会

日 時：令和6年3月1日（金） 18:30～20:00  
場 所：オンライン開催（Zoom）  
参加者：36名（医師：15名、看護師：12名、その他：9名）

「SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN/CIRCULATE-Japanが主導するがん個別化治療」  
国立がん研究センター東病院 医薬品開発推進部門医薬品開発推進部国際研究推進室 室長/  
トランスレーショナルリサーチ支援室/消化管内科 中村 能章 先生  
「患者力からPerson-centered careへ」  
奈良県総合医療センター総合診療科 部長/臨床研修医支援室 室長  
総合南東北病院総合内科 非常勤医師 東 光久 先生

## 山口 第11回 市民公開講座 「全力で挑む難治がんの治療」

日 時：令和6年3月2日（土） 13:00～15:00  
場 所：KDDI維新ホール メインホール  
参加者：115名

「食道がんの内視鏡診療」  
山口大学消化器内科学講座 伊藤 駿介 先生  
「チームで乗り越える進行食道がんの治療」  
山口大学消化器・腫瘍外科学講座 西山 光郎 先生  
「胆道がんってどんな病気？」  
山口大学消化器内科学講座 田原 祥子 先生  
「膵がんの低侵襲外科手術」  
山口大学消化器内科学講座 新藤 芳太郎 先生  
「胆道がんの集学的治療」  
山口大学消化器・腫瘍外科学講座 松井 洋人 先生

## 岡山 第8回 岡山 がん患者のQOL向上を目指した コミュニケーション技術研修会

日 時：令和6年3月2日（土） 10:00～18:00  
令和6年3月3日（日） 8:00～14:30  
場 所：岡山大学医歯薬融合型教育研究棟3階  
参加者：4名

難治がん、再発、抗がん剤の中止など悪い知らせを患者に知らせるロールプレイ



## 岡山 市民公開講座 岡山大学発「親子で体験!遺伝子とからだのふしぎ」

日 時：令和6年3月9日（土） 13:00～16:30  
場 所：おかやま未来ホール イオンモール岡山5F  
参加者：224名（うち子ども110名）

■第1部 目には見えない遺伝子の世界をのぞいてみよう!  
「遺伝子、DNA、ゲノムってなんだろう？」 岡山大学病院 臨床遺伝子診療科 深野 智華  
「遺伝と病気って関係あるの？」 鳥取大学医学部附属病院 遺伝子診療科 粟野 宏之  
光る影絵「ウキとウキキのウッキッキー!」 影絵人形劇団 むむのこ  
■第2部 遺伝とがんについて気になるあなたへ～専門家に聞いてみよう～  
「遺伝医療のこれから」 神戸市立医療センター中央市民病院 浦川 優作  
「遺伝性のがんと診断されて」 家族性大腸ポリポシス患者と家族の会 ハーモニー・ライン 楠原 伸幸  
「遺伝カウンセリングって何ですか？」 岡山大学病院 臨床遺伝子診療科 二川 摩周  
【体験コーナー】  
・自分のDNAを見てみよう  
・みんなで作ろう 遺伝の木  
・パペットシアターらせんくらぶ 特別公演「P.ことり座」



## 鳥取 市民公開講座 自分らしい日々を過ごすために

日 時：令和6年3月9日（土） 13:00～14:30  
場 所：鳥取大学医学部 記念講堂  
参加者：127名（市民：127名）

「緩和ケアを知っていますか?～緩和ケアは縁の下のかもち～」  
松江市立病院 緩和ケアセンター センター長 安部 睦美 先生  
「安心してください～自分でも緩和ケアできますよ～」  
まつなみ医院 院長 松波 馨士 先生

## 鳥取 On the Job Training 「全ゲノムシーケンスを含むゲノムデータ解析研修」

日 時：令和6年3月11日（月） 13:00～16:00  
場 所：鳥取大学研究推進機構研究基盤センター セミナー室  
※講義のみハイブリッド開催  
参加者：15名（オンライン：10名、会場：5名）（医師：7名、看護師：1名、遺伝カウンセラー：3名、検査技師：2名、研究者：2名）

「網羅的遺伝子解析」  
鳥取大学研究推進機構研究基盤センター 教授 / 医学部附属病院 遺伝子診療科 科長 粟野 宏之  
「全ゲノムシーケンスの結果解釈について」  
鳥取大学研究推進機構研究基盤センター 准教授 足立 香織  
ハンズオンセミナー：全ゲノムシーケンス結果解釈  
鳥取大学技術部 甲斐 政親  
鳥取大学医学部附属病院 遺伝子診療科 野中 智生

## 香川 第30回 緩和医療に関する集中セミナーin香川 セとうち緩和ケアチーム懇話会

日 時:令和6年3月15日(金) 18:00～19:40

場 所:香川大学医学部附属病院 マルチスペース(調剤薬局2階)

現地ならびにオンライン配信

参加者:35名(医師:9名、看護師:15名、薬剤師:4名、検査技師:2名、MSW:1名、歯科衛生士:1名、助教:1名、事務:1名、その他:1名)

「がんの痛みとオピオイド～医療に携わる皆さんへ～」

三朝温泉病院麻酔科診療部長 島根大学名誉教授 中谷 俊彦

「難治性がん性痛に対するくも膜下鎮痛法」

佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科 部長 小杉 寿文



## 広島 第21回 広島臨床遺伝セミナー

テーマ:ポストコロナで活性化する最先端遺伝医療を学ぶ

日 時:令和6年3月18日(月) 19:00～21:00

場 所:シェラトングランドホテル広島 3階『水輝』

参加者:51名(医師:32名、看護師:5名、その他:14名)

「福山型筋ジストロフィーの治療法開発研究」

藤田医科大学病院 臨床遺伝科 准教授 池田 真理子 先生

「全ゲノム解析実装計画における臨床遺伝と臨床検査の関わり」

千葉大学医学部附属病院 検査部・臨床検査科(兼)遺伝子診療部/

がんゲノムセンター/超音波センター 部長・診療教授 松下一之 先生

## 岡山 緩和ケア県民公開講座

日 時:令和6年3月20日(水) 14:00～16:00

場 所:岡山大学病院Jホール(Junko Fukutake ホール)

参加者:44名(一般人:19名、医療従事者:21名、介護者:3名、その他:1名)

「いのちをつむぐ」

社会医療法人 石川記念会HITO病院 緩和ケア内科部長/岡山大学緩和支援医療科 大坂 巖 先生

## 徳島 徳島大学大学院市民公開講座 がん治療のチーム医療 ～徳島大学の最新の取り組み～

日 時:令和6年3月20日(水) 13:00～15:30

場 所:徳島大学 長井記念ホール

参加者:222名

「がん遺伝子パネル検査と薬物療法 ～内科医の立場から～」

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 消化器内科学分野 助教 三井 康裕 氏

「がんの周術期治療におけるチーム医療 ～外科医の立場から～」

徳島大学病院 食道・乳腺甲状腺外科 講師 井上 聖也 氏

「免疫チェックポイント阻害薬の副作用について ～薬剤師の立場から～」

徳島大学大学院 薬剤部 がん専門薬剤師 柴田 高洋 氏

「自分らしく生きるために今、“もしも”を考える ～看護師の立場から～」

徳島大学大学院 保健科学研究科 緩和ケア認定看護師 明石 和子 氏

「運動で築くがんケアの基盤:予防から回復までの全方位アプローチ ～理学療法士の立場から～」

徳島大学病院 リハビリテーション部 理学療法士 近藤 心 氏

「チームで関わるがん患者さんの栄養サポート ～栄養士の立場から～」

徳島大学病院 栄養部 管理栄養士 筑後 桃子 氏

## 鳥取 市民公開講座 がんになっても自分らしく生きる サバイバーシップとピアサポート

日 時:令和6年3月24日(日) 13:00～15:00

場 所:米子コンベンションセンター 国際会議室

参加者:97名(市民:97名)

「治療と仕事の両立支援から考える、がんになっても自分らしい生き方」

社会保険労務士事務所 Cancer Work-Life Balance 代表 清水 公一 先生

「患者力で仲間を支える～愛媛でのピア・サポートの取り組みから～」

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長 松本 陽子 先生

## 鳥取 FD・生涯教育WG主催SDM研修会

日 時:令和6年3月28日(木) 17:30～18:30

場 所:ハイブリッド開催 鳥取大学医学部附属病院 会議室3・4

参加者:27名(医師:16名、看護師:7名、その他教員:1名、その他職員:3名)

「がん医療におけるSDM(Shared Decision Making) EBMの原点からその先へ」

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野

教授 中山 健夫 先生



## 第9回 CAYA世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワークセミナー

## 愛媛 第8回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会

日 時:令和6年3月30日(土) 15:00～17:10

場 所:リジェール松山 8階瑞穂+Web配信

参加者:53名(医師:44名、看護師:7名、薬剤師:2名)

【基調講演】「愛媛県立中央病院における小児がんサバイバー長期フォローアップ体制について」

愛媛県立中央病院 AYA世代がん支援チーム 小児科 永井 功造 先生

「愛媛大学における小児がん患者の妊孕性温存の試みについて」

愛媛大学医学部附属病院 小児科 助教 森谷 京子 先生

【特別講演】「小児がんサバイバーの大規模観察研究について」

名古屋大学医学部附属病院 小児科 病院助教 片岡 伸介 先生

## 広島 広島大学病院放射線治療講演会

日 時:令和6年4月10日(水) 12:00～13:00

場 所:放射線治療センター カンファレンスルーム

参加者:23名(医師:10名、物理士:1名、放射線技師:6名、学生:6名)

「Optimal Dose/Duration of Thoracic RT and PCI for Small Cell Lung Cancer」

Emeritus Professor of Radiation Oncology,MD Anderson Cancer Center Ritsuko Komaki, M.D.

## 高 知 第1回 放射線治療・緩和的放射線治療医コース(インテンシブコース)講演会

日 時:令和6年5月21日(火) 18:00～19:00  
場 所:オンライン開催(Zoom)  
参加者:60名(医師:25名、看護師:8名、放射線技師:26名、歯科医師:1名)

「阪大における医学物理学研究紹介」  
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 医療画像技術科学分野生体理工学講座 医学物理学研究室 教授 西尾 禎治 先生

## 高知県立 第1回 がん高度実践看護師(APN)セミナー

日 時:令和6年6月6日(木) 18:30～20:30  
場 所:高知県立大学 池キャンパス看護学部棟 C322演習室  
参加者:3名(大学院生3名)

「大学院での学びとCNS認定までのプロセス」  
「総合病院の病棟に勤務するOCNSの活動」 講師:がんプロ修了生

## 広 島 ゲノムをまなびん祭

日 時:令和6年6月8日(土)9日(日) 13:00～16:00  
場 所:広島駅南口地下広場  
参加者:自由参加の為カウント無し

■市民公開講座  
「難病とゲノム」 広島大学 大学院医系科学研究科 脳神経内科学講座 教授 丸山 博文  
「妊娠・出産とゲノム」 広島大学 広島中央地域・産科周産期医療支援講座 寄附講座 助教 山崎 友美  
「放射線とゲノム」 広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線ゲノム疾患研究分野 教授 松浦 伸也  
「がんとゲノム」 広島大学病院 ゲノム医療センター・遺伝子診療科 教授 檜井 孝夫  
■遺伝性乳癌・ダウン症候群当事者会による写真展  
■身近な体質を調べる体験  
■ダウン症候群の方々によるイベント  
■現役医師Insheartさんによるミニライブ



## 高知県立 第2回 がん高度実践看護師(APN)セミナー

日 時:令和6年6月10日(月) 18:30～20:30  
場 所:高知県立大学 池キャンパス看護学部棟 C322演習室  
参加者:4名(大学院生4名)

「実践の事例」  
「大学病院の病棟に勤務するOCNSの活動」 講師:がんプロ修了生



## 広 島 広島大学病院がん医療従事者研修会

日 時:令和6年6月14日(金) 18:30～20:00  
場 所:オンライン開催(Zoom)  
参加者:67名(医師:9名、看護師:35名、薬剤師:4名、その他:19名)

「腫瘍内科医が開業する意義」  
瀬尾医院うじな家庭医療クリニック 瀬尾 卓司 先生  
「腫瘍内科医が開業医になったら」  
なんば内科クリニック 院長 難波 将史 先生

## 広 島 第30回 広島放射線治療研究会

日 時:令和6年6月15日(土) 15:00～  
場所:オンライン開催(Zoom)  
参加者:49名(医師:23名、放射線技師:5名、物理士:5名、その他(学生、業者):16名)

「乳癌最新薬物療法 Update2024」  
がん研有明病院 乳腺センター 乳腺内科 副部長 原文堅 先生

## 高知県立 第3回 がん高度実践看護師(APN)セミナー

日 時:令和6年6月21日(金) 18:30～20:30  
場 所:高知県立大学 池キャンパス看護学部棟 C322演習室  
参加者:6名(大学院生6名)

「コーディネーションの事例」  
「緩和ケアチームに所属するOCNSの活動の実際」 講師:がんプロ修了生



## 高知県立 第4回 がん高度実践看護師(APN)セミナー

日 時:令和6年6月24日(月) 18:30～20:30  
場 所:高知県立大学 池キャンパス看護学部棟 C322演習室  
参加者:4名(大学院生4名)

「倫理調整の事例」  
「都内の大病院で横断的活動を行うOCNSの活動の実際」 講師:がんプロ修了生



## 高 知 第2回 放射線治療・緩和的放射線治療医コース(インテンシブコース)講演会

日 時:令和6年6月25日(火) 18:00～19:00  
場 所:オンライン開催(Zoom)  
参加者:35名(医師:16名、看護師:7名、放射線技師:12名)

「腫瘍免疫と放射線治療」  
札幌医科大学 放射線医学講座 准教授 染谷 正則 先生

## 高知県立 第5回 がん高度実践看護師(APN)セミナー

日 時:令和6年7月5日(金) 18:30～20:30  
場 所:高知県立大学 池キャンパス看護学部棟 C322演習室  
参加者:6名(大学院生6名)

「コンサルテーションの事例」  
「緩和ケアセンターに所属するOCNSの活動の実際」 講師:がんプロ修了生

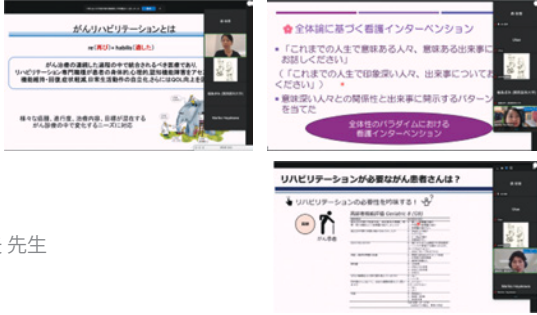
## 徳島 がん高度実践看護師WG講演会 in Tokusima がん看護インテンシブコースⅡ

テーマ：がんリハビリテーション看護としての看護インターベンションを考えよう

日 時：令和6年7月6日(土) 13:00～16:30

場 所：オンライン開催

参加者：61名(看護学生：46名、看護師：13名、教員：2名)



「がんリハビリテーションに対する現状と課題」

関西医科大学病院 呼吸器腫瘍内科学講座 助教 勝島 詩恵 先生

「実臨床で実践するためのがんリハビリテーション」

関西医科大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 助教 福島 卓矢 先生

「がんリハビリテーション看護におけるがん看護専門看護師の役割」

東京医科歯科大学病院 がん看護専門看護師 早川 満利子 先生

## 広島 広島大学病院緩和ケア研修会

日 時：令和6年7月7日(日) 9:00～16:55

場 所：臨床管理棟 3階大会議室

参加者：30名(医師：26名、歯科医師：2名、薬剤師：1名、その他：1名)

研修項目：

①がん緩和ケアにおけるコミュニケーション(ロールプレイング及びグループ演習)

②全人的苦痛に対する緩和ケア(グループ演習 症例検討)

③療養場所の選択と地域連携(グループ演習)

④がん患者等への支援

## 高知県立 第6回 がん高度実践看護師(APN)セミナー

日 時：令和6年7月12日(金) 18:30～20:30

場 所：高知県立大学 池キャンパス看護学部棟 C322演習室

参加者：4名(大学院生4名)

「教育の事例」

「がん治療部門におけるOCNSの活動の実践～がん薬物療法およびがんゲノム医療～」 講師：がんプロ修了生

## 高知県立 がん高度実践看護師WG講演会 in Kochi

テーマ：がんゲノム医療における意思決定支援

日 時：令和6年7月14日(日) 13:00～16:30

場 所：オンライン開催(Zoom)

参加者：79名(看護職：58名、ゲノムコーディネータ：1名、医師：1名、大学院生：4名、修了生：12名、教員：3名)

「がんゲノム医療における基本的な知識と看護師への期待」

岡山大学 学術研究院医歯薬学域 臨床遺伝子医療学分野 教授 平沢 晃 氏

「がんゲノム医療を受ける患者・家族の支援 ～看護師に期待される役割と課題～」

島根大学医学部附属病院 臨床遺伝・ゲノム医療センター 副看護部長 荒木 もも子 氏



## 高知 第3回 放射線治療・緩和的放射線治療医コース(インテンシブコース)講演会

日 時：令和6年7月16日(火) 18:00～19:00

場 所：オンライン開催(Zoom)

参加者：56名(医師：23名、看護師：10名、薬剤師：1名、放射線技師：16名、歯科医師：1名、学部学生：1名、公認心理士：1名、医師事務作業補助者：1名、事務補佐員：1名、教員：1名)

「粒子線治療のこれまでとこれから」

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院 病院長 石川 仁 先生

## 高知県立 第7回 がん高度実践看護師(APN)セミナー

日 時：令和6年7月18日(木) 18:30～20:30

場 所：高知県立大学 池キャンパス看護学部棟 C322演習室

参加者：4名(大学院生4名)

「研究の事例」

「がん看護に関する組織体制構築の取り組み」 講師：がんプロ修了生

## 徳島 がん栄養セミナー

日 時：令和6年7月20日(土) 16:00～18:00

場 所：ハイブリッド開催 徳島大学 蔵本キャンパス

臨床講義棟1F 第1臨床講堂、ZOOMにてライブ配信

参加者：162名(医師：1名、管理栄養士：119名、その他：42名)

「がん予防のための食品研究の最前線」

徳島文理大学 教授 近藤 茂忠 先生

「がん予防のための食生活」

岐阜大学大学院医学系研究科 疫学・予防医学分野

教授 永田 知里 先生



## 山口 第11回 山口大学がんプロがん看護CNS事例検討会

日 時：令和6年7月23日(火) 17:00～18:30

場 所：山口大学医学部 医修館5階 セミナー室

参加者：5名(大学教員：4名、看護師：1名)

「がん看護CNS合格のためのレポートの書き方について」 講師：がん専門看護師 太田 佳男 先生

## 愛媛 愛媛がん疼痛セミナー

### 愛媛 第1回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会

日 時：令和6年7月24日(水) 18:15～20:00

場 所：オンライン開催(Zoom)

参加者：180名(医師：32名、看護師：9名、薬剤師：135名、放射線技師：2名、教員：2名)

「在宅医療の現場における看取りを含めたがん患者緩和ケアの実際～楽なようにやりたいように後悔しないように～」

医療法人ゆうの森 理事長 たんばぼクリニック 永井 康徳 先生

「がん疼痛治療もオーダーメイドで」

香川県立中央病院 緩和ケアセンター長 仁熊 敬枝 先生

愛媛 第5回 中央西日本がんゲノム医療連携フォーラム  
第2回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会

日 時:令和6年7月31日(水) 18:30～20:20  
場 所:ハイブリット開催 愛媛大学 医学部総合教育棟 2階第2ゼミナール  
参加者:19名(医師:15名、看護師:1名、臨床検査技師:2名、医療スタッフ:1名)

「Precision Oncologyの現状と近未来」  
国立がん研究センター中央病院 先端医療科 医長 小山 隆文 先生  
「がん遺伝子パネル検査における薬剤アクセス」  
岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター 二宮 貴一朗 先生  
倉敷中央病院 腫瘍内科 仁科 慎一 先生  
徳島大学大学院 医歯薬学総合研究部 呼吸器・膠原病内科学分野 荻野 広和 先生

徳島 Cancer Meeting in Tokushima 2024

日 時:令和6年8月12日(月) 11:00～12:30  
場 所:徳島大学病院 西病棟11階 日亜メディカルホール  
参加者:20名(医師:18名(内院生4名)、臨床検査技師:1名、大学院生:1名)

「早期膵がんの病態解明と新規診断法の開発」  
神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野 教授 児玉 裕三 先生  
「慢性肝疾患からの肝発癌機構とその対策」  
北海道大学大学院医学研究院 内科学分野 消化器内科学教室 教授 坂本 直哉 先生



広島 がん診療連携研修会

日 時:令和6年8月22日(木) 19:00～20:00  
場 所:広島大学病院 たんぽぽ保育園 2階カンファレンスルーム  
参加者:28名(薬剤師:28名)

「乳がん治療における薬剤師の関わり」  
広島大学病院 薬剤部 布施 直美 先生  
「外来がん化学療法における薬薬連携」  
広島大学病院 薬剤部 小別所 貴弘 先生

高知 第4回 放射線治療・緩和的放射線治療医コース(インテンシブコース)講演会

日 時:令和6年8月27日(火) 18:00～19:00  
場 所:オンライン開催(Zoom)  
参加者:41名(医師:19名、看護師:6名、薬剤師:1名、放射線技師:11名、学部学生:2名、  
医師事務作業補助者:1名、教員:1名)

「伝統医学が支える放射線治療～漢方を用いたアプローチ～」  
新潟県立がんセンター新潟病院 放射線治療科 鮎川 文夫 先生

